2024（令和6）年度

二中だより

第１０号　2024（令和6）年６月１３日　発行責任者　加賀谷　登

県総体予選南部Ｂブロック大会に向けて

いよいよ６月１５日（土）から県総体予選南部Ｂブロック大会が開催されます。まず、男女のソフトテニスから始まります。詳しい日程は、二中だより９号でご確認ください。今回は、各部キャプテンからの県総体予選南部Ｂブロック大会に向けての決意表明を紹介します。

剣道部
３年　青木　優虎

県の総体に行くために一試合一試合を大切にし、それを実行できるように練習したいです。僕は、１年生、２年生と両方１回戦で負けてしまい、もう今年が最後になってしまっています。普段は勝ち負けにこだわらないのですが、最後、今まで剣道をやってきてよかったと思えるような結果を出すことができるようにがんばっていきたいと思います。今まで学校や小剣の人、親にもたくさんお世話になったので、少しでも恩返しできるようにがんばります。応援よろしくお願いします。

女子ソフトテニス部
３年　工藤　心結

私たちは団体戦・個人戦に出場します。昨年全国大会に出場することができましたが、目標だった１勝が果たせない悔しい結果となりました。
新チームになり、もう一度同じ舞台に立ちたいと思い、悔しかった気持ちを忘れず毎日練習に取り組んできました。なかなか思い通りにいかなかった時もあったけど、一人一人が自分の足りない所を見直し県総体出場を目標に努力してきました。今まで積み重ねてきたことをすべて出し切り、自分たちの力を信じて最後まであきらめず笑顔で戦います。
そして、支えてきてくれた人に感謝の気持ちを忘れず頑張りたいです。
応援よろしくお願いします。

サッカー部
２年　花崎　大賀

ぼくたちは今年、阿南第一中学校と合同チームで出場します。一中と合同になってから早１年が経ちました。一緒に練習できる時間は限られていますが、協力して練習をしてきました。はじめは合同チームになった時は、声を出したり、コミュニケーションも取れなかったりして不安でしたが、１年間してきた練習をすべてこの総体で出し切りたいです。短い間でしたが、１年間一緒にサッカーをしてくれた一中の３年生の最後の試合です。３年生が笑顔で終われるように頑張りたいです。

バレーボール部
３年　井出　みさき

去年３年生と一緒に総体に出て、先輩が悔しんでいる姿を見て、「私たちの代も頑張ろう」と思った日から、もう１年たったと思うと、この１年間はものすごく早かったです。新チームからは富岡東中学校と合同になり、この１年練習してきました。始まったばかりの新人戦ではフォーメーションを覚えたり、コミュニケーションを取ったりすることが難しく、慌ただしいスタートになりましたが、この総体では１年間やってきたことを出し切りたいです。この３年間支えてくれた家族、チームメイト、先生方に感謝し、中学校生活最後のバレーを楽しみたいです。そして、私たち３年生が悔いなく笑顔で終われるように精一杯頑張ります。

男子卓球部
３年　湯浅　亮太

去年僕たち卓球部は、県総体に出場することができませんでした。先輩との最後の大会でしたが勝つことができず、悔しい思いをしました。今年の僕たちの目標は、それぞれが自分の卓球をして、チーム一丸となり県総体へ進むことです。自分の課題を見つけ１年間練習してきました。大会本番まであと２週間です。この２週間で、一人一人が団体戦で勝つために必要なことは何かをもう一度考えました。技術面では、得意なことをもう一度練習し、得点に生かせるようにします。もう一つは、精神面です。試合中セットが取られそうになったり、負けてしまいそうになったりする場面が何度も訪れます。そのたび、「大丈夫できる」という強い気持ちをもって、冷静にプレイすることが必要です。精一杯声を出し、拍手をしてチームメイトの一球一球に声援を送りたいです。

男子ソフトテニス部
３年　吉岡　弘登

僕たち男子ソフトテニス部は、日々練習をがんばってきました。去年は団体は県総体に行けませんでした。その時はすごく悔しかったので、その悔しさをバネに今年こそは団体で県総体に行きたいです。今年は、県総体に行けるだけの実力は僕はあると思うので、その実力を出し切って勝ちたいです。もう一週間ほどしか時間がありません。少しでも長くみんなとテニスがしたいので、団体戦で県総体に行って、個人戦でも悔いの残らない試合にしたいです。

バスケットボール部
３年　池添　永真

初めて総体に出た日から３年たったと思うと、いろんなことを経験したけど、あっという間だったなと思います。１年生のころは、人数も少なくて、スタメンが全員１年生で心身ともにボロボロでした。なかなか相手に勝てず、悔しい思いもたくさんしました。嫌になることもたくさんありました。それでも前に進んでいける頼もしい仲間やあきらめず指導してくださる先生方、悔しかったとき寄り添ってくれる家族がいました。先輩の背中は見ていませんが、素直で頑張れる後輩にもめぐまれ本当に幸せな３年間でした。
この総体では、悔いのないように戦いたいです。

野球部
３年　東條　天飛

入部当初から野球部は部員が少なく、１年生の時から総体に出場させてもらいました。総体独特の緊張感は誰よりも経験し分かっていると思います。だからこそ、キャプテンとしてチームを鼓舞し、最後の試合をみんなと悔いなく戦いたいです。初戦の阿南中も２回戦で当たる小松島南中も新人戦で負けて悔しい思いをしているので、最後の総体でリベンジを果たして自分の軟式野球人生を締めくくりたいです。そして、お世話になった保護者と先生方に、優勝して恩返しをしたいです。